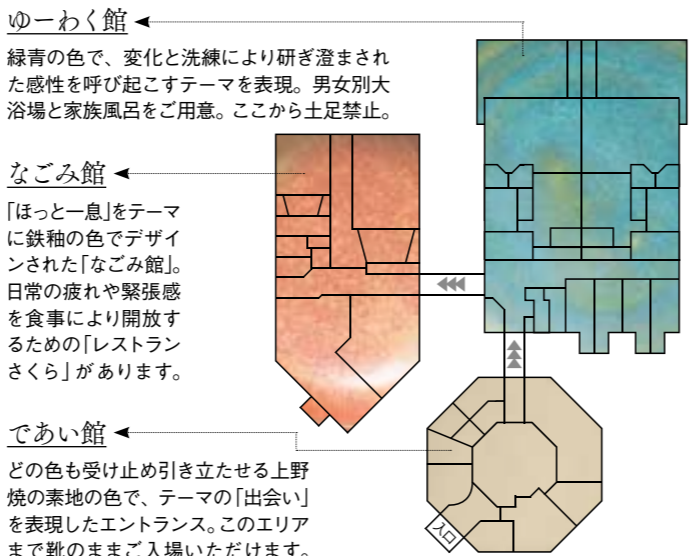




Hinoh Gides 館内案内

リニューアルオープンした「日王の湯」は、国指定の伝統的工芸品で福智町特産品である「上野焼」の釉薬の色で各館のコンセプトが表現されています。ご来館の際は、ぜひ従来から一新された各館のデザインにもご注目ください。



1 格子状のドームが印象的な「であい館」のエントランス。周囲にはお土産品が並ぶ 2 フロント右横には地元産の新鮮野菜や創作パンなどの物産がずらり 3 「なごみ館」の「レストランさくら」で提供される「日王の箱膳(1600円)」



日が降りそそぐこの場所で
 特別三昧の贅沢な時間を

天然温泉 日王の湯
 ふるさと交流館

Hinoh ONSEN Resorts

新たな指定管理者を迎え、生まれ変わった福智の秘湯「天然温泉 日王の湯」。温泉と料理と自然、そして人の心遣いで非日常と化す空間で、心晴れる時間を過ごしませんか。

人と人との縁をつなぐ場所を目指して

五 十五年間、我が社の基、「互助共生」の精神の基、冠婚葬祭事業を展開する中で、少子高齢化や過疎化など、時代の大きなうねりに直面する社会でも豊かなつながりを創出できるよう、共飲共食共浴共健共旅共遊共歌共笑する「実践共助八美道(八共道)」に取り組む使命があると思うようになっていきました。そんな折に出会ったのが「日王の湯」でした。

社名の「サンレー(SUN・RAY)」には、人類発展の源である「太陽の力」、「何事も陽に促されて生きる」信念等を意味しています。また、私は「小笠原家茶道古流」や「実践礼道小笠原流」で総師範を務めており、「日王の湯」の施設的魅力に加え、

指定管理者制度とは

町所有の公共施設の運営を民間企業や法人等に委ねる制度。施設や設備は町が管理し、経営のみ指定管理者が行います。従来は町設立の法人による運営でしたが、「ふじ湯の里」も含め、町は企業の高い経営力を生かした地域活性化に取り組んでいます。

運営の舵託した新生「日王の湯」オープン
 温泉・レストラン・物産・健康増進・宿泊機能を含んだバリアフリー構造基調の施設で、周囲の立地的好条件も相まって、「天然温泉 日王の湯」は、平成14年のオープン時から町内外問わず根強い人気を得てきました。高い魅力と可能性を秘めたこの施設をさらに大勢の人から親しまれる施設にするため、町はホテルや結婚式場などの冠婚葬祭事業を各地で展開する高い経営ノウハウをもつ「株式会社サンレー」を新たな指定管理者に指定。両者の綿密な意識のすり合わせと館内のリノベーションを経て、9月10日から新たなスタートを切りました。

誰もが集える
 みんなの別荘へと

「日王の湯」の新たなコンセプトは、老若男女、ハンディキャップの有無に関わらず、誰もが集える「みんなの別荘」。施設は5館で構成され、今回はその内、新しく生まれ変わった、地域の特産物が並ぶエントランスである「ゆーわく館」、メインの温泉を楽しむ「なごみ館」、お腹の幸福も満たす「なごみ館」をご紹介します。日がさんさんと降り注ぐ中、五感の全てで癒やされる「日王の湯」へご案内します。

社名や茶道、礼法を通じて縁を感じたため、この地で指定管理者として初の温泉施設運営を決意しました。コロナ禍での新しい挑戦は、時期を考慮しながらと考えていますが、将来的には、湯浴のバラエティー強化やレストランの充実、町と「日王の湯」と我が社の魅力を相乗させた取組ができればと考えています。その実現に向け、我が社のホスピタリティを社員一丸で実践し、福智町の皆さまに信頼され、今まで以上に愛される施設を目指して精進してまいります。



→ 茶の湯の開祖・村田珠光の流れをくむ小笠原茶道古流。500年以上の伝統と誇りを保ちながら、茶祖が残した茶道文化を次世代へ伝承すべく、佐久間会長は総師範として活動を続けている。



株式会社サンレー
 佐久間 進 代表取締役会長
 1935年生まれ。國學院大學卒業後、松柏園ホテルの経営を補佐するかわら、備礼文化の事業化に取り組み、昭和41年、「北九州市冠婚葬祭互助会」を設立。その後、「株式会社サンレー」を創業。現在、代表取締役会長。平成19年に旭日小綬章を授章。



→九州沖縄・北陸地区でプライダ事業を手掛ける株式会社サンレー!